

学会誌委員会 公募内容	
委員会よりのご挨拶	学会誌委員会は編集担当委員 10 名と主査担当委員 30 名で構成されていますが、今回は、主査担当委員 2 名を公募いたします。昨今、英語論文や様々な統計分析手法や質的分析手法を用いた論文の投稿が増加してきていることから、これらの論文の査読をご担当いただける主査担当委員を公募いたします。該当される方、ぜひ一緒に論文審査をしていただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。
募集人数の目安	<p>A. 英語論文の査読を担当する主査 1 名程度</p> <p>B. 様々な統計分析手法や質的分析手法が用いられた論文の査読を担当する主査 1 名程度</p> <p>※採用人数は募集人数を超える場合や、少ない場合があります。採用がない場合もあります。</p>
主な活動・業務内容	学会誌委員会では、年に 3 回刊行される『日本語教育』の刊行事業に関わる業務全般を担当しています。具体的には、投稿論文の査読・審査、特集号の企画・編集、寄稿論文号の企画・編集、学会誌刊行等にかかわる方針の検討などが挙げられます。その中で今回の公募対象である主査担当委員は、以下の「業務に関する特記事項」に掲げている業務を担当していただきます。
委員会開催頻度	今回の公募対象である主査担当委員は、学会誌委員会に参加いただくことはありませんが、年に 3 回(1～2 月、5～6 月、9～10 月)、主査として査読をご担当いただきます。
業務に関する特記事項	<p>1) 主査として、主に英語による投稿論文の査読あるいは統計分析手法・質的分析手法を用いた論文の査読</p> <p>2) ご自身による査読のほか、副査を含めた査読結果の取りまとめと投稿者宛コメント作成(英語による投稿論文でのコメント作成は日本語によるものとしています)</p> <p>3) 条件採用になった場合の再査読</p> <p>* 各号につき(年に 3 回)、最大 3 本の論文のご担当をお願いします(以下 2 点に該当する論文の投稿がない場合は査読担当がないこともあります)。</p> <p>* 事前に査読可能な専門分野をお聞きしますので、可能な分野と合致した内容の査読のご担当をお願いすることになります。</p>
応募要件	<p>以下の A または B のいずれかを満たす方</p> <p>A. 日本語教育、日本語学等の関連分野に関する英語論文の査読が可能なこと</p> <p>B. 日本語教育、日本語学等の関連分野に関する様々な統計分析手法、または質的分析手法を用いた論文の査読が可能なこと</p>
その他特記事項	なし
<p>当委員会の委員に応募していただける方は、別添の応募用紙に必要事項をご記入の上、当委員会のメールアドレスにお送りください。なお、ご質問等がございましたら、ご遠慮なく当委員会にメール(gakkaishi@nkg.or.jp)にてお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします！</p> 	